

(現) 認定こども園制度の概要

認定こども園とは

幼稚園、保育所等のうち、以下の機能を備え、都道府県の認定を受けた施設

- 就学前の子どもに幼児教育・保育を提供
保育に欠ける子と欠けない子両方を受け入れ、教育・保育を一体的に行う。
- 地域における子育て支援
すべての子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談活動や、親子の集いの場の提供などを行う。

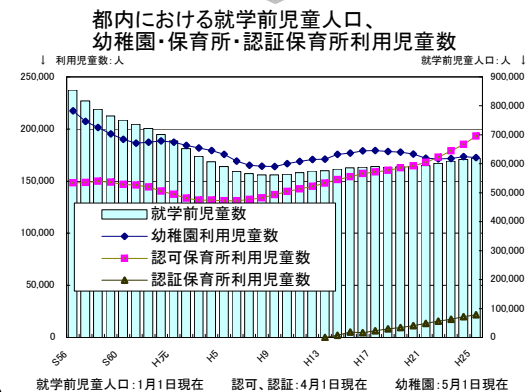
制度創設の背景と都の状況

制度創設の背景(国)

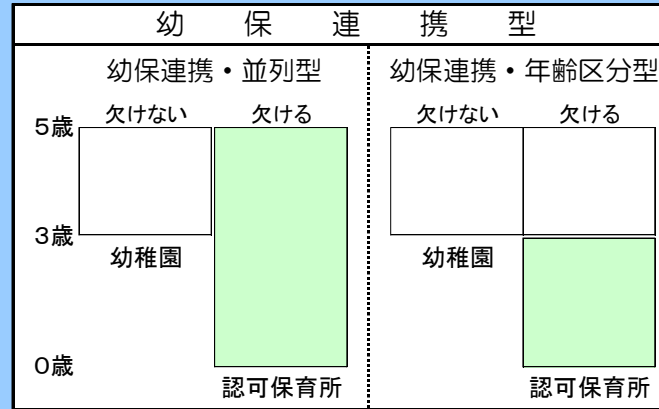
- 親の就労の有無で利用施設が限定（＝親が働いていれば保育所、働いていなければ幼稚園）
- 保育所待機児童が2万人存在する一方、幼稚園利用児童は10年で10万人減少
- 育児不安の大きい専業主婦家庭への支援が大幅に不足
- 少子化の進む中、幼稚園・保育所別々では、子どもの育ちにとって大切な子ども集団が小規模化。運営も非効率

東京都の状況

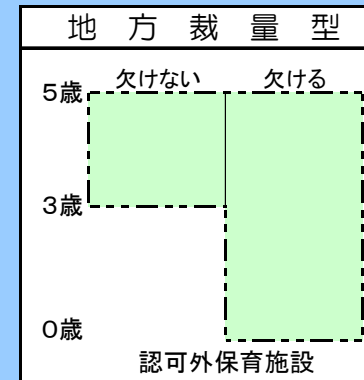
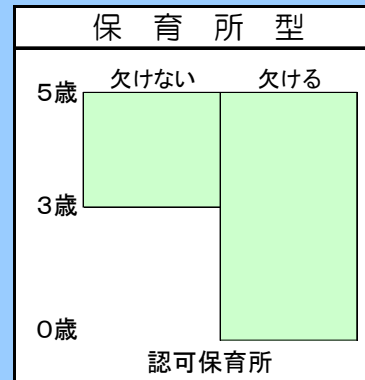
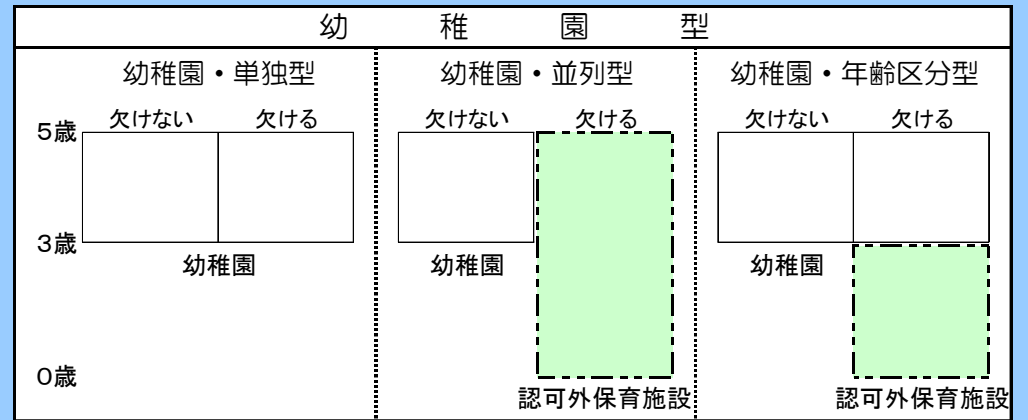
- 都内の就学前児童人口は、平成6、7年頃までは減少したものの、その後は横ばい若しくは若干増
- 保育ニーズは高く、認可保育所、認証保育所ともに利用児童数は増加
- 幼稚園の利用児童数も近年は概ね横ばい



施設の類型



欠ける： 児童福祉法第39条第1項に規定する子ども。いわゆる保育に欠ける子
欠けない： 上記以外の子ども



認定こども園の認定件数（平成25年4月1日現在）

	認定件数	公私の内訳		種類別の内訳			
		公立	私立	幼保連携型	幼稚園型	保育所型	地方裁量型
都内	91か所	20か所	71か所	14か所	46か所	21か所	10か所
全国	1099か所	218か所	881か所	594か所	317か所	155か所	33か所